

グループエンカウンターによる人間関係作りの授業を行いました

12月6日(金)に筑波大学大学院教授の庄司一子先生と大学院生3名に来校いただき、1学年生徒対象のグループエンカウンターによる人間関係作りの授業を行いました。すでに6月に1学年4クラスが一度ずつ、庄司先生のご指導を受けていましたので、今回は2回目にあたります。

今回は、部屋を自由に無言で歩いたり、ほほえみを交わして歩いたり、挨拶して歩く「フリーウォーク」、全員が輪になって拍手をつないでいく「拍手回し」、3人一組で指示に従って組み合わせるメンバーを変える「木とリス」、6人がグループになって究極の選択についてすごろくを行う「スゴロクトーキング」、グループで新聞紙のタワーを作る「新聞タワー」を行いました。

生徒たちからは笑顔がこぼれ、活発な活動となりました。生徒からは「どの活動も楽しかった」、「クラスの人たちの気づかなかったところに気づいた」などの感想が聞かれました。庄司先生からは、「この半年でだいぶ成長した姿を見ることができました。」という言葉をいただきました。12月13日(金)にも2クラスで実施します。



「拍手回し」



「木とリス」



「スゴロクトーキング」



「新聞タワー」